

## 第20回 佐久市少年少女3X3大会実施要項

### 1 日時

令和7年7月20日（日）午前9時00分 試合開始  
（8：30～本部にて責任者会議を行います）

### 2 会場

野沢体育センター（開館時間は8時00分）

|             |        |
|-------------|--------|
| Aコート（奥左側）   | 女子シニア  |
| Bコート（奥右側）   | 男子シニア  |
| Cコート（入り口左側） | 男女ジュニア |

### 3 試合方法

#### ・女子

- 【1】シニアの部（小学6年生以下）：リーグ戦
- 【2】ジュニアの部（小学4年生以下）：リーグ戦

#### ・男子

- 【1】シニアの部（小学6年生以下）：リーグ戦
- 【2】ジュニアの部（小学4年生以下）：リーグ戦

### 4 表彰

#### ・女子

- 【1】シニアの部

優 勝 優勝旗（持ち回り）、賞状、楯、ボール

準優勝 賞状、楯

3 位 賞状

- 【2】ジュニアの部

優 勝 優勝旗（持ち回り）、賞状、楯、ボール

準優勝 賞状、楯

3 位 賞状

#### ・男子

- 【1】シニアの部

優 勝 優勝カップ（持ち回り）、賞状、楯、ボール

準優勝 賞状、楯

3 位 賞状

- 【2】ジュニアの部

優 勝 優勝カップ（持ち回り）、賞状、楯、ボール

準優勝 賞状、楯

3 位 賞状

### 5 試合規則

- （1）エントリー

各チーム3～5人までとし、全員出場することとする。

また、当日朝（試合前）のエントリー変更は可能とするが、受付時に本部に申し出ること。

## （２）チーム

試合は１チーム選手３人ずつがコートで対戦する、ベンチに２名控え選手をおきローテーションする事ができる。

試合開始後、負傷者等でチームに欠員が出た場合、２名でも試合可能とする。（１名になってしまう場合は没収試合とする。）

## （３）時間

|     |             |     |
|-----|-------------|-----|
| 前 半 | 休           | 後 半 |
| 5 分 | — 〈 1 分 〉 — | 5 分 |

ア シニアは後半ラスト２分以降笛がなったら、タイマーをとめる。それまでは、流し。  
ジュニアは前後半ともに流しで行う。

イ ゲーム終了時に得点が多いチームの勝利とする。  
同点の場合は代表３人によるフリースローを行う。それでも勝敗がつかない場合は、同一の  
投球順でＶゴールフリースローを行う。

## （４）ゲーム

ア タイムテーブルに沿った試合進行をする。

イ ゲーム開始時の攻撃権はじゃんけんに勝ったチームが開始時のオフェンスチームとなる。

ウ ゲーム開始時はフリースローラインを挟んで両チームの登録選手が向かい合い、開始時は礼  
終了後は正面の選手と握手をする。

エ 得点はアークの内側からのショットは１点、外側からのショットは２点とする。

オ タイムアウトはなしとする。

カ 得点上限は２１点とする。

キ ゴールの高さ、ボールについてはミニバスケットボール（５号球）のルールで行う。

## （５）選手交代

ア 審判が笛を吹いてプレーを止めたとき、それぞれ回数に関係なく選手交代できる。

イ ボールがデッドかつチェックボールの前に可能。交代要員はバスケットと反対側のエンドラ  
インに立ち、コートの外へ出たチームメートと身体的接触をしたあとゲームに入ることがで  
きる。交代は審判やテーブルオフィシャルズによる指示や合図を必要としない。

## （６）帯同審判

ア シニア戦は２名。ジュニア戦は１名で行う。１名の場合はトレイルポジションから判定す  
る。

イ 審判で割り振られたチームに審判員が不在の場合、系列チームの審判が行う。（試合が被って  
しまう等で審判ができない場合は協会の審判が行うため、あらかじめ事務局に申し出ること。）

ウ 審判服装について、上はレフリースカッター、下は自由（レフリースカッターのない方にはビブ  
ス貸出し）とする

## （７）テーブルオフィシャル

大会事務局から指定されたチームがスコアー、タイマー、得点板を行う。２チームの場合は前後  
半で交代する。（ジュニアについても行うが、保護者が補助をすること）

(8) コートキーパー

各コート1名。大会事務局から指定された者が担当する。

(9) ショットクロック

シニア14秒。ジュニアなし。ただし、オフェンスチームが積極的に得点を狙わない場合、審判は残り5秒をジュニアに対してはカウントして警告できる。

(10) ファウルと退場

ア 個人なし。退場はありません。

イ 6回目まではチームファウルの罰則はなし。

① 7～9回目は、1本のフリースローを与える。

② 10回目以降は、2本のフリースローとポゼッションを与える。

ウ フリースローラインについてはシニアはミニバスケットのラインを使用。

ジュニアについてはゴールに近い位置のラインを使用し、シュート後にラインを越えても可とする。

フリースローについてはタイマーは止め、チェックボール後の対応については2ポイントラインの外側から再開する。

(11) フィールドゴールが成功したあとの攻撃権

ディフェンスのチームにポゼッションが移る。バスケットの真下からボールをドリブルまたはパスでアークの外まで運ばなければならない。新たにディフェンスになったチームは、ボールがバスケット真下の“ノーチャージセミサークル”の外に出るまで、ボールに対してディフェンスしてはならない。

(12) ボールがデッドになった場合の再開

トップからチェックボールで再開する。

(13) ディフェンスのチームがリバウンドをコントロールまたはスティールした場合

ボールをドリブルまたはパスでアークの外に運ばなければならない。

(14) ジャンプボールシチュエーション後の再開

ディフェンスのチームにポゼッションが移り、トップからチェックボールで再開する。

(15) その他

ア 開会式は行いませんので、ゲーム開始の1時間前までに集合し、各チーム代表者の方はステージ上の本部にて受付を済ませてください。

イ ゲーム中、異なる番号のビブスもしくはユニフォームを各チームが用意する。各自で用意が難しい場合は事務局が準備するビブスを使用すること。

ウ ベンチは組み合わせ番号の若いチームがT.O向かって右側とし、ユニフォームは原則として、淡色、左側は濃色とする。

エ T.Oは担当試合終了後速やかにスコアシートを本部まで届ける。

オ 原則選手以外が指示を出したり、ベンチに入ることができません。

カ フラッシュ撮影はご遠慮ください。

キ 動画、写真等のSNSの投稿は禁止する。

(16) 熱中症対策について

引率責任者は下記の内容について、選手の様子を見ながら対応をお願いします。

ア 少しでも体調に異変を感じた場合、速やかに涼しい場所に移動し、休ませるなどの対応をしてください。

イ こまめな水分補給と、塩分補給を心がけてください。

※上記に記載がない場合、競技規則の基本線を超えない範囲で、ゲーム審判は自身の判断で適宜に試合を進めることができる。選手と引率責任者は審判の判定に従うこと。